

# 6年音楽科学習

**題材名**  
 「いろいろな音のひびきを味わおう」  
 『ラバースコンチェルト』『管弦楽組曲・惑星から 木星』（教育芸術社）

**研究授業日**:平成29年6月20日(火)  
**場所**:音楽室 **指導者**:角出 昭子 教諭

## ■ 題材について ■

- この題材は、楽器、音楽づくり、鑑賞の各活動を通して、パートの役割や楽器の特徴を生かした響きやその重なり的美しさを味わうことをねらいとしています。合奏や音楽づくり、オーケストラの様々な楽器の組合せから生まれる響きの美しさを味わう活動を通して、表現を工夫しながら、自分たちの目標とする響きを求めて演奏することの楽しさや成就感を味わうことのできる教材が配列されています。
- 自分たちの求める音楽表現にこだわり、友だちとつながりながら、主体的な学びができるような流れをつくります。

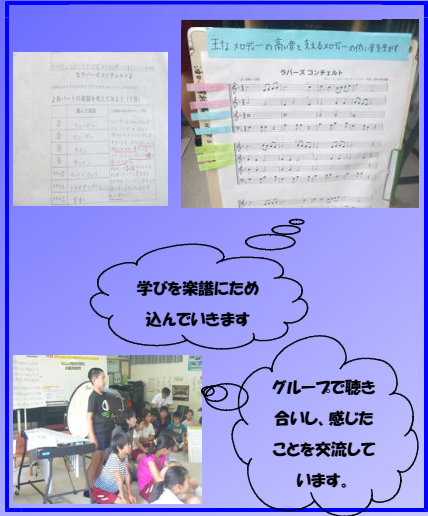
## ■ 題材の目標 ■

- パートの役割や楽器の特徴を生かして全体の響きを味わって演奏したり、楽器の組合せから生まれる響きの美しさを味わって聴いたりする。
- 楽器の音色やリズム、音楽の仕組みを活かして、自分の思いや意図をもって音楽をつくらたり演奏したりする。

## ■ 本時の目標 ■

- 各パートの特徴を生かし、自分たちのイメージに合う楽器の組み合わせを工夫することができる。

## ■ 学びの足あと ■



学びを楽譜のために  
込んでいきます

グループで聴き  
合い、感じた  
ことを交流して  
います。

## ■ 研究授業 ■



**導入**

自分たちのイメージに合う楽器の組み合わせをみつけよう！

**展開1**

4つのパートの重なりを意識して、「ラバースコンチェルト」を演奏します。(復習)

**展開2**

グループで考えたイメージに合う楽器の組み合わせを、楽器の音色やリズムを確かめ合いながら演奏してみます。

**終末**

グループごとに発表し、互いに聴き合い、次時のめあてを考えます。

より自分たちのイメージに合う楽器の組み合わせを決定し、演奏してみます。

## ■ 題材の流れ ■

音のひびきを味わい、楽器の特徴を活かし、表現にこだわって演奏する。

**■ 三次 (2時間) ■**

●楽器の特徴を活かして表現する。

・打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルをつくる。

「リズムをつくってアンサンブル」

**■ 二次 (1時間) ■**

●楽器の響きの重なりを味わう。

・オーケストラのひびきを味わいながら聴く。「管弦楽組曲『惑星』から 木星」

**■ 一次 (3時間) ■**

●楽器の組み合わせを工夫し、演奏する。

・パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏する。「ラバースコンチェルト」

全 6 時間

